

## 防犯パトロールで、 安全・安心な明るいまちに。 駅前美化にも取り組む

vol.59

(株)みつや不動産 (横浜市都筑区)

横浜市の港北ニュータウン、あざみ野、たまプラーザエリアを中心に、売買仲介をメインに手掛ける(株)みつや不動産 (横浜市都筑区、代表取締役：鎌木 泰氏)。鎌木氏は、地域の安全のために最寄り駅周辺でのパトロール隊を立ち上げ、8年以上にわたり活動を支えてきた。

### まちの治安維持へ 巡回パトロールを実施

2008年に開通した、同社の最寄り駅である横浜市営地下鉄グリーンライン「北山田」駅。新駅の周辺は閑静な住宅街だが、開業から間もなく、まちの治安が悪化した。「俗に不良と呼ばれる若者が集まり、駅前で飲酒や喫煙をしたりする姿が見られるようになったのです。そうした中で公共物が破壊される事件も発生、地域の方から『怖い』という声も聞かれました」(鎌木氏)。

当時地元の商店振興会の会長を務めていた鎌木氏が、その状況を看過せずに警察に相談。「まちの治安維持には防犯パトロールが効果的」とのアドバイスを受け、振興会の会員や地元町会に声をかけ、11年に活動をスタートした。

毎月第3金曜日の夕方、おそろいのベストを着た参加隊員100名ほどにより、まちをあげてパトロールするよう。「直接の注意は警察がしてくれます。われわれはまちをグルグルと歩くのです」(同氏)。この取り組みによ



代表取締役  
鎌木 泰氏

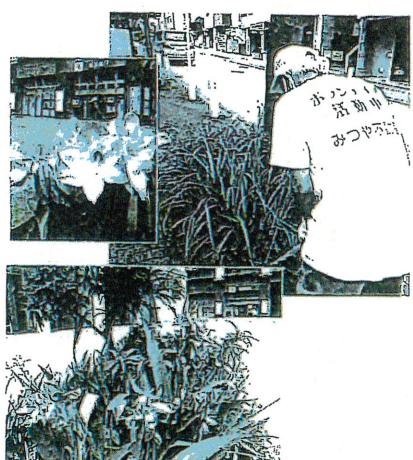


り、不良の集団は地域から消えたそうだ。以降、規模は縮小したもののパトロール活動は定着し、現在に至るまで継続されている。

同氏は18年に振興会会長を退いたが、その後も駅周辺や近くにある山田富士公園の清掃、街路や行政が設置した植物用の樽の植栽の手入れなど、まちの美化活動に力を注ぐ。

「まちがきれいだと、治安維持にもつながる。何より、きれいなまちはみんなが気持ちいい」(同氏)。

安全で安心、明るい北山田のまちへ、「これからも自ら行動していく」(同氏)と言う。



鎌木氏自ら花を植え、手入れをしている(写真右上)。植栽用の樽でアマリリス(写真左上)や紫蘭(写真左下)が咲き乱れる様子(写真提供:(株)みつや不動産)